

中国地区品質経営協会 シンポジウム

モノづくりマネジメント技術革新

－ 参加のお勧め －

近年のモノづくりはこれまでのように供給側が考える高品質、高信頼性を追求するにとどまらず、顧客が想定する以上の価値を提供し、感動を与える製品や商品づくりが求められております。お客様の要求にこたえるためには技術力の蓄積が重要であり、ベース技術を磨き、積み重ねる活動を愚直に実施継続することが肝要と考えます。

そこで今回のシンポジウムは、「モノづくりへのこだわり/技術革新」をキーワードに、タキベーカーリー様、マツダ様をお招きしてご講演いただきます。

タキベーカーリー様にはパン業界にとって画期的な技術革新、流通革命をもたらした「冷凍パン生地」をはじめとした取り組みを、マツダ様にはこれまでに数々の名車と先進的な技術を生み出し、業界独自の立ち位置からの「魂動デザイン」の取り組み等についてお話しいただきます。

また、当協会 児玉副運営委員長のコーディネートによるパネルディスカッションを行い、参加者の皆様からの質問にお答えする形で講師の方々との意見交換を行うことができると考えております。

実際に取り組まれた事例を聴くことで、企業はどう関わっていくべきか、具体的に何をすればいいのか、といった疑問に対し、多くの示唆やヒントが得られるのではないかと思います。皆様方の積極的なご参加をお待ちしております。

◆ 日 時 : **2023年10月18日(水)** 13:20 ~ 17:00 (13:00 開場)

◆ 会 場 : **広島商工会議所ビル 1階 101会議室** および **Zoom によるweb配信形式**
※各参加者様にて参加方法(会場参加 or web参加)を選択いただけます。

◆ プログラム :

第一部 講演① (13:25 ~ 14:25)

『テーマ名：お客様に焼き立てのパンの美味しさをお届けする為に
～ 冷凍パン生地技術・焼成済み冷凍パン技術 ～ 』

株式会社タキベーカーリー 執行役員 (生産本部 研究開発部長)
筒井 賢志 (つつい けんじ) 氏

QMAC Symposium 2023.10.18

第二部 講演② (14:35 ~ 15:35)

『テーマ名：お客様の輝きにつなげるマツダのモノづくり

— 魂動デザイン実現に向けた金型生産技術革新 — 』

マツダ株式会社 技監 (グローバル生産・物流担当役員補佐)

安達 範久 (あだち のりひさ) 氏

第三部 パネルディスカッション (15:45 ~ 16:55)

- ・ 株式会社タカキベーカーリー 筒井 賢志 氏
- ・ マツダ株式会社 安達 範久 氏
- ・ 中国地区品質経営協会 副運営委員長 児玉 照三 (コーディネーター)

■ 講演者/講演要旨 紹介

<講演①>

【講演者】

◇ 筒井 賢志 氏 (株式会社タカキベーカーリー 執行役員 (生産本部 研究開発部長))

[略 歴]

- ・ 1985年 株式会社タカキベーカーリー入社
入社以来、広島アンデルセンをはじめ、店舗直営店「アンデルセン」にて製造、店舗運営に従事
- ・ 1990年 アメリカニューヨークの料理学校 (The Culinary Institute Of America) 略称：CIA に短期派遣
- ・ 1991年 タカキベーカーリー 商品開発部 所属
- ・ 2014年 商品開発部長
- ・ 2019年 研究開発部長
- ・ 2020年 執行役員 研究開発部長 現在に至る

【講演要旨】

アンデルセングループは、創業以来、お米中心の日本の食文化において、異文化の象徴である「パン」本来の美味しさをお客様に知っていただきたいという想いをずっと持ち続けています。

今回の講演では、お客様の身近な場所に焼き立てのパン屋さんの展開を可能にした「冷凍パン生地システム」のお話と、今後、主流になっていくであろう焼成済冷凍パンについて、弊社のブランド「石窯パン」の技術革新の紹介を絡めて今後の展開を紹介します。

<講演②>

【講演者】

- ◇ 安達 範久 氏 （マツダ株式会社 技監（グローバル生産・物流担当役員補佐））

[略 歴]

- ・ 1983年 マツダ株式会社 入社
入社以来、一貫して生産技術に従事。パワートレインの生産工学関係、FA 関係、金型設計、製作領域を主として生産技術領域業務を経てエンジニアリング業務担当。そして、グループ、部のマネジメントを複数担当（PT 先行技術グループマネージャ、型技術グループマネージャ、ツーリング製作部部長）
- ・ 2015年 技術開発本部副本部長
- ・ 2016年 技術本部長（生産技術全般をマネジメント）
- ・ 2022年 技監（グローバル生産・物流担当役員補佐）として生産領域全体の技術開発をマネジメント。 現在に至る

【講演要旨】

自動車業界は100年に一度の大変革期を迎えています。スモールプレーヤのマツダでは「ブランド価値経営」の実現に向け、商品をはじめプロセスやサービスの革新を進めており、特に商品においては、「魂動（KODO）デザイン」「SKIACTV-X（内燃機関革新）」「人馬一体」をキーワードとして、コーポレートフィロソフィに従ったチャレンジを進めています。

今回の講演では、マツダの概要とモノづくりの革新の考え方そして、「魂動（KODO）デザイン」の実現に向け、プレス金型の製作革新を事例にマツダの生産技術革新の考え方や変革の事例について紹介します。

■ パネルディスカッション コーディネーター紹介

- ◇ 児玉 照三 副運営委員長

[略 歴]

- ・ 1972年 西川ゴム工業株式会社入社
- ・ 1997年 品質保証部長
- ・ 2001年 取締役 企画・人事部長
- ・ 2004年 常務取締役 管理本部長
- ・ 2007年 専務取締役
- ・ 2018年 西川ゴム工業株式会社退職
- ・ 2019年 中国地区品質経営協会 副運営委員長 現在に至る

■ 会場案内

広島商工会議所ビル 1階 101 会議室

広島市中区基町 5-44 TEL (082) 222-6610 (代表)



- ・相生通り（国道 183 号線）沿い原爆ドームの向かい。
- ・路面電車①②③⑥⑦系統、各社バス/アストラムライン利用の場合は、原爆ドーム前、紙屋町、広島バスセンター県庁前等で下車。

■ 参加要領

【会場定員】 会場参加：100 名
Web 配信：定員なし

【参加費】 会員会社：無料
非会員会社：3,000 円/人

【申込締切日】 **2023 年 9 月 27 日 (水)**

【申込方法】 参加申込書に必要事項を記入の上、**Eメールにてお申し込み下さい。**

※申し込みは、「エクセル書式」のままで送信してください。

※参加者が 15 名を超える場合は新たな申込書のファイルを作成してください。

■ ご参加にあたっての注意事項

- 1) シンポジウムへの**参加にあたり、録音・録画は禁止となります。**
- 2) web 配信には Zoom を使用しますので、PC 等の機器・N/W 環境等をご確認ください。
- 3) 参加者様全員に web 配信用 URL を後日メールにてご案内いたします。視聴場所（社内自席、会議室、自宅等）は各参加者様が選択いただけます。
- 4) 会場参加をご希望の方にも web 配信用 URL を発行しますので、当日、会場参加が難しくなられた場合、Zoom でご参加いただくことも可能です。

以上